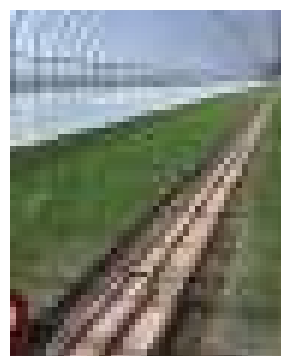


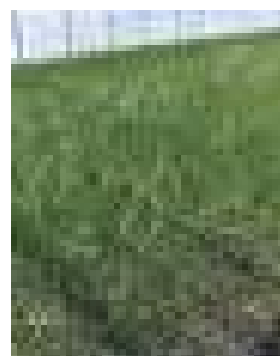
新規トンネル資材の効果確認試験

JAいわみざわ

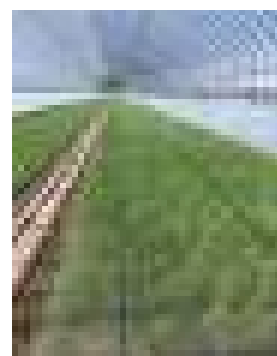
(株)安藤農産



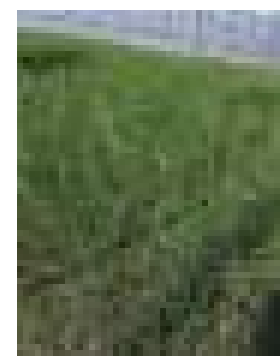
慣行



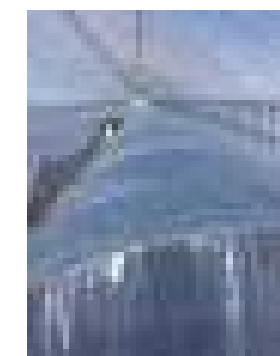
慣行2



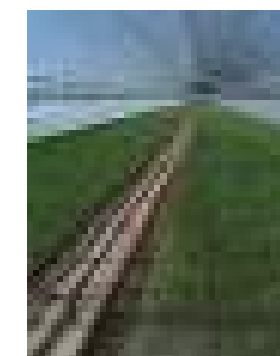
試験



試験2



全体



全体2

試験目的

新規トンネル資材の効果確認

試験作物
及び品種

玉葱

試験資材
及び数量(規格)

クリンテートトンネル(0.075mm×460cm×100m)

慣行資材

オニオンホット2年目

栽培方法

定植日

慣行区:2月16日
試験区:2月16日

4/15 定植

資材使用期間

2月16日～3月25日

試験区面積

480㎡

試験結果

(1)作業性について(慣行品との比較)

展張する際は慣行品と比べて差はなかった。さらさらしていたので期待はしたが、結果開閉時の作業は慣行品の方が勝った。慣行品が農POの中でもさらさらしており、試験品が特段悪いというわけでもなく慣行品の作業性がさらに良かった印象。

(2)作物の生育状況または、収穫への影響

生育は試験区がよかった。西日が入るほうが例年では生育が良かったため、慣行品を展張し比較した。

試験品は慣行品と大差がなかったため、保温効果が高いことが予測できた。

(3)栽培管理上の優位点あるいは問題点について

【優位点】: 流滴効果が昨年と異なり得られた。片付け作業時に効果を発揮できると考えられる。

【問題点】: 開閉時の作業性

(4)資材の強度・耐久性・崩壊性について

これからの部分もあるが、現状は慣行品と比べて大差がないと思われる。

(5)保温効果について

保温力はある。ただし今年の春先は天気も良く温度が上がりやすかったため、生育が進みすぎている。

トンネル資材の効果としてはわかりにくい年であったと感じた。

モニター感想

今年は昨年同様試作農POを試験した。慣行品はオニオンホットの2年目であり、フィルムが曇る分比較試験としては慣行品は分が悪い。それを差し引いても試験品の保温効果は高く、生育が促進されることが確認できた。

今年の春は天気が良好であり、フィルムの効果がわかりづらい年であったが、寒い年であれば効果を発揮できると思われた。

反対に慣行品は作業性が良く、家族にも好評であったことから作業性をとるか保温力をとるか悩む結果となった。

あとは価格が慣行品よりも安くなれば選択肢の一つとして検討できると思われる。

JA担当者の感想(資材センター 山口担当)

保温効果が高いという結果が得られたことで、保温力を求めている方にとっては新たな選択肢になると思う。農協としても慣行品との違いが明らかであれば薦めやすいので、期待している。

作業性については慣行品の方が良いとの意見があるが、改善できる部分もあると思う。改善されればさらに薦めやすくなるので、使用された農家の意見を基に改善をお願いしたい。

今後の使用について

継続して使用したい。